

学力向上策（案）

1 データから

(1) 全国学力調査

- ・小・中学校とも全教科で県・全国平均を下回っている。

(2) 全国学習状況調査（児童・生徒質問紙：小6・中3対象）

宮城県学習意識等調査（児童・生徒質問紙：小5・中1対象）

- ・小学校で県・全国との差が見られる項目

「自分には良いところがあると思う」「将来への夢や目標を持っている」「基本的な生活習慣（朝食・寝起き）」「家庭学習への取組（計画性・時間等）」「地域行事への参加」「地域や社会への関心」「新聞を読むこと」「読書」「震災の影響」「テレビを見る時間」「ゲームをする時間」「無料通信アプリを使う時間」等

- ・中学校で県・全国との差が見られる項目

「基本的な生活習慣（朝食・寝起き）」「家庭学習への取組（計画性・時間等）」「地域行事への参加」「地域や社会への関心」「新聞を読むこと」「読書」「震災の影響」「テレビを見る時間」「ゲームをする時間」「無料通信アプリを使う時間」等

2 大河原町教委の実践で参考となるもの

(1) 学力向上「3本の矢」

○第1の矢 幸せを呼ぶ「志教育」

- ・暗唱読本、先人集、社会科副読本の活用による志教育

＊読解力向上と志・道徳教育の充実 ⇒ 学力向上

- ・「鍛えるタイム」の設定

- ・「明日青のつどい」「未来会議」 ⇒ 自己肯定感を高める取組

○第2の矢 分析し対策を立てる標準学力テスト（年2回）

- ・「R-PDCA」学力向上検証改善サイクル

○第3の矢 定着発展させるデータベース活用

- ・「問題データベース」を活用した習熟度別学習の充実

- ・ICT活用 MIYAGI Style の推進

- ・「家庭学習の手引」活用：下敷きにして配布（？）

(2) 算数チャレンジ・数学オリンピック大会の実施

(3) その他

- ・「働き方改革」 ⇒ 機器の導入（出退勤システム ICカードリーダー）

- ・留守番電話の導入（効果 大）

- ・新学習指導要領の時数増への対応 ⇒ H31 冬休みを2日減（試行）

- ・教委組織体制 ＊指導主事（教頭経験）＝割愛

＊退職校長等 教育総務課1 生涯学習課1

3 中能登町教委の実践で参考となるもの

(1) ハード事業

○学校統合・再編に向けて校舎等整備

H17 中能登町誕生（3町合併）⇒ 小学校6→3 中学校3→1

(2) ソフト事業（赤字＝大河原町と共通）

○中学校 ・中能登塾（県家庭教師協会から講師派遣）

・タブレット 電子黒板等整備

○小学校 ・無線LAN整備 ・タブレット 電子黒板等整備

○小中共通 ・校務支援システム導入 ・家庭学習の手引き配布

・第2子以降給食費助成 ・英検補助1/2

・給食費公会計化 ・ICカード型タイムレコーダー導入

・留守番電話設置 ・スクールサポートスタッフ配置

(3) 夢プロジェクト事業

第Ⅰ期 H22～24 統合中学校の開校を飾る

H25 第Ⅰ期を検証し第Ⅱ期の構想を練る

第Ⅱ期 H26～28 「教育の町 中能登」を目指す

第Ⅲ期 H29～31 さらに充実発展を成し遂げる

事業内容 【小学校】 1. 学習(学力向上) 2. ふれあい 3. 運動

【中学校】 1. 勉強 2. 生徒会活動 3. 部活動

組織体制 夢プロジェクト推進室

室長（元校長 公民館長兼務）＋担当（内部職員）1名

*教育委員会教育文化課

課長：総括（学校教育係・文化財保護係統括）

担当課長：学校教育総括（指導主事）

夢プロジェクト実行委員会

↓ 学校・教委・PTA・体育協会との連携

夢プロジェクト推進会議

↓

6部会（学力向上 ふれあい スポーツ・部活動 生徒指導

児童会・生徒会 PTA） 部会長は担当校長

29年度活動（主なもの）

1. 学力向上部会

①学力向上推進委（学力向上推進委）

- ・帯タイム（朝自習等）及び**補充指導** ・家庭学習の運用
- ・「**ノーテレビ・ノーゲーム**」の日（月1）
- ・全国・県学テへの対策・取組・共有化 ・**町学力テ（年2）**
- ・**夢プロ検定（学期1 計算・漢字等）** ・**活用問題作成**
- ②授業改善推進委（研究主任）
 - ・**授業実践交流**（指導主事訪問 研究発表会 研究授業等）
 - ・**授業研究成果の共有化**（授業スタイルの確立）
- ③保小連携推進委（小1学担）
 - ・活動の交流 ・**連絡協議会の開催**（町全体・小学校区ごと）
 - ・**授業体験**（年長児が小学校で授業体験 保護者も参観）
- ④新教育活動推進委（外国語 ICT）
 - ・英語教育の活性化 ・**中学校との連携**

4 各校長からの提言

(1) 町として取り組んでいくとよいと思うこと

- ・「**3つの約束**」の指導・啓発の充実と継続
- ・「**まなびの森**」との連携強化・充実 ・**小中連携強化**
- ・「**学校サポート事業**」による指導強化（小小連携 来年度申請予定）
- ・**学習規律・授業スタイル等の統一**による共通・継続指導
- ・**ICT環境整備**と学習支援

(2) その他

- ・**放課後等補充学習**への取組の充実 ・**外国語学習の前倒し実施**
- ・（年間）該当学年の学習を早めに終わらせ、**復習の時間**を多く取る。
- ・「**5つの提言**」の徹底 ・**過去問**への取組
- ・**町全体での暗唱**への取組 ・**学習支援のための学生や指導者の配置**
- ・**教室等へのエアコン設置**

5 学力向上への取組（町施策）

◇学校教育充実事業（「知徳体」各領域の指導強化）

⇒ **学力向上部会** *平均正答率の向上に向けて目標年度を設定

- ・「**3つの約束**」、小中連携、町内統一指導等学校の取組検討
- ・「**学校サポート事業**」（小小連携 算数）
- ・「**まなびの森**」との連携強化（小中 算数・数学）
- ・**町内標準学力テスト**（年2回 国語 算数・数学 QU調査）
- ・**問題データベース**の活用
- ・**ICT等環境整備**

（その他：エアコン設置 留守番電話導入 出・退勤システム等の環境整備 大学との連携
人の配置等）

* 学校再編の取組は別途